

2021年度 発達支援つむぎ 北千住ルーム 職員アンケート改善策報告

いつも発達支援つむぎをご利用いただき、ありがとうございます。職員アンケートの結果および改善策の報告をいたします。
 今後も支援の質向上に努めてまいりますので、お気づきの点などございましたら、施設長または職員にお気軽にお知らせください。

	質問内容	平均スコア	改善策・ご意見への対応について	
体制設備について	Q2	入口や指導室、カフェ、トイレなど、ルーム内は清潔、整理整頓され、お子さまが活動するにあたり安全な環境であるか。	4.00	お子さま、保護者様、そしてカフェを利用する近隣の方が安心して落ち着いて過ごせる場となるよう、引き続き環境整備に努めてまいります。
	Q3	職員の配置数、職員の専門性は適切であるか。	3.00	職員の配置数につきましては、大変な時期もありましたが、皆さまの努力と協力で乗り切れたことを感謝しております。専門性につきましては、コロナ禍ではありますが、WEBを活用するなどの工夫をし学びを得られるような取り組みに繋がるよう努めてまいります。
	Q4	業務中の休憩および休暇は適切に取れているか。	3.67	職員の配置数により左右されることも多々あるかとは思いますが、十分な休憩及び休暇を取ること、リフレッシュモチベーションが上がるよう、工夫してまいります。
	Q5	ルーム内の環境や指導員の人員体制について、ご意見をお聞かせください。		人員体制につきましては配置数同様、大変な時期もありましたが、皆さまの努力と協力で乗り切れたことを感謝しております。
	Q6	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに、広く職員が参加しているか。	3.67	月1回の園会議やルーム会議を実施する中で、より多くの意見を集約しPDCAサイクルを回していけるよう努めてまいります。
業務改善について	Q7	保護者にアンケート調査等を行い、保護者の意向や意見を把握し、業務改善につなげているか。	3.67	アンケート調査のみならず、日々の支援の中で得た保護者様の意向やご意見を共有し、どのように改善・対応するかの話し合いを実施しております。引き続き、必要に応じて業務改善をしてまいります。
	Q8	この自己評価表の結果を事業所内掲示やホームページなどで公開しているか。	4.50	アンケート結果は事業所内に掲示し、保護者様にも閲覧して頂けるようにするだけでなく、職員間でも共有しております。
	Q9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3.50	第三者による外部評価の実施を今後、法人含めて検討してまいります。
	Q10	職員の資質、療育スキル向上のため研修の機会を確保しているか。	3.67	法人内で実施される子育てスキル講座や社内講師制度で研修の機会を確保しております。引き続き、外部研修を含めたルーム内研修なども積極的に参加できるような仕組みを整えてまいります。
	Q11	業務改善について、ご意見をお聞かせください。		引き続き、業務改善を行う中で職員の皆さまが安心して、よりよく働けるような仕組みを一緒に整えてまいります。
適切な支援の提供について	Q12	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	3.33	初回、アセスメントからそれ以降のモニタリング・アセスメントは法人内で標準化されたツールを使用し、PDCAサイクルを回しております。
	Q13	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか。	3.67	保護者様のニーズを組み込み、保護者様からの視点と、職員からの視点を客観的に分析し、個別支援計画を作成しております。
	Q14	グループ指導や個別指導のプログラムは、支援目標に沿ったものになっているか。	3.83	プログラムの立案方法など、支援目標に沿ったものになっているかどうかは、日々の記録の中での振り返りだけでなく、ケース検討会議などを通して客観的に捉えていくよう努めてまいります。
	Q15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3.83	引き続き、活動プログラムの充実やバリエーションが増えるように職員間で共有をしたり、他ルーム研修を実施するなどして、活動の幅を広げているように努めてまいります。
	Q16	プログラム開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる内容や役割分担について確認しているか。	3.83	支援内容については活動前に共有し、お子さまが楽しめる内容になっているか、常にお子さまを真ん中にして検討し、今後も実施してまいります。
	Q17	支援終了後には、職員間で必ず支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか。	4.00	活動終了後に振り返りを実施し、次の活動に活かしていけるようにしております。引き続き実施する中で、互いに共有し支援の質の向上に繋げてまいります。
	Q18	日々の支援内容を正しく記録し、支援の検証・改善につなげているか。	3.67	決められたフォーマットを活用し、日々の記録を基にアセスメントを実施しております。引き続き実施する中で検証・改善し支援の質の向上に繋げてまいります。
	Q19	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適用期間内に次期個別支援計画の説明ができていますか。	3.83	定期的に保護者様からモニタリングで直近の家庭での様子や所属園での様子を聞き取ると共に、日々の活動の中から見たお子さまの様子を共有しております。そこから個別支援計画に反映し保者さまに提示させていただき、ご同意をいただいております。
	Q20	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか。(自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供など)	3.83	日々の活動では日常生活の自立に向けた支援の他、日常生活の充実を図る遊びや、理解できるが増える中で喜びに繋がるような活動を取り入れ工夫しております。コロナ禍ではありますが、できる遊びや支援を考え提供しております。
	Q21	適切な指導の提供について、ご意見をお聞かせください。		
保護者との関係連携について	Q22	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4.00	活動のフィードバックの中で、日々のお子さまの様子を共有し、目線合わせを大切にしております。今後とも共通理解を持って、お子さまと職員も一緒に成長できるように努めてまいります。
	Q23	所属の幼稚園や保育園等と連携し、相互理解や支援のアドバイス等に務めているか。	2.83	コロナ禍ではありますが、必要に応じて保護者様のご要望に沿って電話でのやり取りや園訪問を実施しております。引き続き、お子さまの母体である園生活の中でもできることを一緒に考えてまいります。
	Q24	児童発達支援事業所同士で連携をとり、情報共有、相互理解に務めているか。	2.83	他事業所をご利用のお子さまにつきましては、保護者様やご利用中の相談支援事業所を通して個別支援計画書を共有させて頂いたり、様子を共有させて頂いたりする中で、つむぎの支援でも汎化できるようにしてまいります。引き続き、連携してまいります。
	Q25	児童発達支援事業所から放課後等デイサービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容などの情報を提供するなどしているか。	3.17	他事業所へ移行される場合や放課後等デイサービスに移行される場合、保護者様からのご要望に応じ情報を提供させて頂いております。引き続き継続した支援を実施できるように努めてまいります。

保護者と関係機関の連携について	Q26	児童発達支援センターや発達障害者支援センターなどの専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	2.83	足立区の子ども発達支援ネットワーク会議に参加する中で、支援について共有させて頂いたり、研修に参加させて頂いたりして日々の支援に活かしております。
	Q27	地域自立支援協議会や社会福祉協議会など、地域連携を図るような会議に積極的に参加しているか。	3.00	地域の自立支援協議会や社会福祉協議会などに積極的に参加し、地域に根付いた事業所を目指してまいります。
	Q28	障害のない子どもと活動する機会を設けているか。	4.50	併設されたこの環境を活かして引き続き、インクルーシブ保育について模索してまいります。
	Q29	事業所の行事に地域住民を招待するなど、地域に開かれた事業運営を行っているか。	3.00	コロナ禍ではありませんが、北千住どろんご保育園と共に園庭開放やカフェの解放、WEBを活用し地域住民と繋がる企画などを実施しております。
	Q30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニングなどの支援を行っているか。	3.00	ペアレントトレーニングとしての実施はできておりませんが、日々の相談を通して家庭や所属園でできることなど助言させていただいております。
	Q31	関係機関や保護者との連携について、ご意見をお聞かせください。		
保護者やお子さまへの対応などについて	Q32	契約、支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明を行っているか。	3.83	丁寧に伝えることを職員一同心掛けています。保護者様が安心して通わせられるルームを日々目指しております。
	Q33	保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3.50	保護者様からの悩みや質問を真摯に受け止めお答えできるように、職員一同成長できるように努めてまいります。保護者様の相談に幅広く、多角的にお答えできるように職員間でも共有してまいります。
	Q34	保護者同士が集まれる場の提供など、保護者同士の連携につながる支援を行っているか。	3.67	グループ活動時のフィードバック時など、保護者様同士でも話題が広がるような提供を心掛けております。コロナ禍でもあり、集まれる場の提供などはできておりませんが、今後はWEBの活用なども視野に入れてまいります。
	Q35	お子さまや保護者様からの苦情があった場合、迅速かつ適切に対応しているか。	3.50	保護者様からのご意見は、職員間で共有し迅速に対応できるよう心掛けております。
	Q36	掲示物やホームページなどで、活動内容やイベント開催告知など、お子さまや保護者様に対して情報を発信できているか。	3.83	コロナ禍ではありませんが、区で実施されるイベントなどカフェの掲示板などを活用し発信させていただいております。
	Q37	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。(例：分かりやすい言葉がけをしているか、専門用語を使い過ぎていないかなど)	4.00	誰が聞いても分かりやすい言葉がけを意識し日々の支援にあたっております。引き続き、分かりやすい言葉がけを心掛けてまいります。
	Q38	個人情報の取扱いに十分注意しているか。	3.17	個人情報の取り扱いについては、細心の注意を払っております。引き続きお預かりさせて頂いている個人情報の取扱いにつきましては細心の注意を払ってまいります。
	Q39	職員同士の連携や情報共有は適切に行われているか。	4.17	ルーム内では日々の朝礼・終礼・ケース検討会議・グループ活動の振り返りなどを通して共有しております。他ルームや他機関との連携を行い、指導の質の向上に邁進してまいります。
	Q40	保護者やお子さまへの対応などについて、ご意見をお聞かせください。		
	非常時の対応について	Q41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを、把握できているか。	4.17
Q42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか。	4.33	毎月、避難訓練を保育園と合同で開催し訓練しております。災害時に備えた動きを確認することで、非常時に対応できるように日頃の訓練を大切にしております。
Q43		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか。	3.00	研修を実施する他、職員間で日々の対応を見直し、虐待とは具体的にどのようなものを示すかを行動レベルに落とし、意識を高めてまいります。
Q44		ヒヤリハット事例集を作成して、事業所内で共有しているか。	4.00	日々を振り返り、終礼の中で毎日共有し、事故の原因そのものを防止しております。
Q45		非常時の対応について、ご意見をお聞かせください。		
満足度について	Q46	利用児はつむぎに楽しく通っていると思うか。	4.17	日々のフィードバック時やアンケートを通して、保護者様から嬉しいお声をいただいております。これを励みに今後ともお子さまが楽しく通えるような環境を整えてまいります。
	Q47	つむぎの支援を通じて、利用児の変化や成長を実感することがあるか。	4.00	つむぎの様子やご家庭、所属園での様子を共有していただく中でも日々小さな成長から大きな成長まで一緒に感じております。引き続き、この喜びを保護者様と共有する中で職員の励みにしてまいります。
	Q48	設問事項に関わらず、ご意見・改善点などなんでもお聞かせください。		

アンケート実施期間：2021年8月13日～9月5日
全回答数：6

発達支援つむぎ 北千住ルーム